

第4回名寄市総合計画審議会顛末

日時：平成30年6月26日（火）18時30分～19時40分

場所：名寄市役所名寄庁舎4階 大会議室

1 開 会

中村総務部長開会

2 会長挨拶

定木会長挨拶

3 議 事

○委員よりの事前質問・意見(定木会長代読)

「地方版総合戦略」は「総合計画」の中に位置付けたほうが効率の面などから望ましいと考える。名寄市ではそのような可能性はあるか。

事務局

中期総合計画を策定するにあたり、これと一体的に、総合戦略の一部改定を行う。市の最上位計画である総合計画と、分野横断的な人口減少等対策である総合戦略の策定・推進をより効果的効率的に行う。総合計画の内容をより深化させていくこと、総合戦略に係る国の動きに機動的に対応することで本市の取組を効果的効率的に推進していく。

(1) 重点プロジェクトについて

[資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料2-1、資料2-2及び資料4-1]

事務局

- ★資料2-1及び資料2-2を用いてデータで客観的に見た名寄市について説明
- ★資料4-1について、5月から6月にかけて分野ごとに5回に分けて市長と各団体との意見懇談会を行い、頂いたご意見・ご提言を今後の参考としてほしい旨を説明
- ★資料1-3について、総合計画（中期）の重点プロジェクト(案)について説明

○委員よりの事前質問・意見

- ①資料2-1 RESASでみる名寄市について、「販売額、雇用は直近で回復基調」とあるが、2014年からの消費税引上げ前の「駆け込み需要」の影響もあり、楽観的な見方には注意が必要ではないか。
- ②資料1-3 重点プロジェクトの経済元気化プロジェクトについて、小売り・卸の事業所数が大きく減少している。「創業・事業承継」への対応は重要かつ喫緊の課題であり、説明文に文言として残し、課題提起する事をお願いしたい。

事務局

- ①増税前のかけこみ需要とその後に反動減の動きはあるが、全国的な基調として持ち直しの動きが見られ、雇用情勢等にも表れている。しかし地方部において後継者・人手不足に陥っていることから、生産性向上や人材確保の政策を講じていくことが重要である。
- ②説明文に「事業承継の取組の支援」を挿入させて頂きたいと考えている。

(2) 主要施策の成果指標(KPI)について

事務局

★資料3-1について、主要施策の成果指標（K P I）（案）について説明

○委員よりの事前質問・意見

- ①「主要施策」I-3 情報化の推進の指標項目(KPI)のうち「個人情報の漏洩件数」の目標値を0件としているが、漏洩件数を目標値とする必要があるのか。また、「情報セキュリティ研修の開催」を定期的に行う事としてはどうか。
- ②「主要施策」I-7 効率的な行政運営のうち「外部講師導入研修への平均参加数について、自主参加としているのか。自主参加としていて参加人数が少ないなら、今後職務指定で参加させればと思う。
- ③「主要施策」II-4 地域福祉の推進のうち「名寄市保健医療福祉推進協議会の開催」、同じくII-6 障がい者福祉の推進のうち「名寄市障害者自立支援協議会の開催」について、定例開催なら目標値は掲載しなくても良いのでは。
- ④名寄市の地域包括ケアシステムの構築の促進対策としてネットワークづくりが望まれるが、ポラリスネットワークだけで十分なのか。点を線で結ぶ地域包括ケアシステム構築の推進に向けた指標項目を具体的に伺いたい。
- ⑤「主要施策」IV-1 農業・農村の振興のうち「食育に関心のある市民の割合を増やす」で、アンケート調査は名寄市民の中から一定の人数を抽出して行うのか。

事務局

- ①漏洩件数は0件であるのが当然のことであるが、市民の情報資産を確実に保護していくための分かりやすいK P Iとして設定している。「情報セキュリティ研修の開催」については各年度2回の研修を行うこととしている。
- ②経験年数の浅い職員向けの研修は、職務命令として参加を義務付けている。中級以降は、各年のテーマに沿った職員のスキルアップのための研修で、自主参加としており、今後、より参加を促す方法について検討してく。
- ③定例ではなく関連計画立案や施策検討時等に適宜開催するため、「定例」の表記から「必要に応じて」と変更。
- ④地域包括ケアシステムには医療と介護、福祉や地域などの連携が重要であるため、特に医療と介護の関係機関の効率的で迅速な連携を図る必要がある。名寄市の地域包括ケアシステムの一つとして、医療介護連携情報共有 ICT を構築する検討を行っている。指標設定も含め、書きぶりは検討し、次回以降説明させて頂く。
- ⑤若干説明欄を加筆し「20歳から74歳までの無作為に抽出した市民1,000名のアンケート調査において「食育に関心がある」と回答する人の割合」と変更。

○委員よりの質問・意見(当日)

- ①「主要施策」IV-1 農業・農村の振興に食育に関心のある市民の割合を増やすとあるが、ここでいう食育の定義とは何か。また、アンケート調査の対象を20歳から74歳までとした理由は何か。
- ②事前質問に対する回答として、包括ケアシステムについては医療介護連携情報共有 ICTを構築する検討を行っているとのことだが、主要施策ではどの分野に該当するか。また、どの分野でどのような検討をしていくのか。ポラリスネットワーク等の医療分野のみならず、介護分野の施策も必要と考えるので検討をお願いしたい。
- ③「主要施策」V-1 幼児教育の充実の中で、認定こども園・幼稚園の定員数及び児童数を指標としているが保育園も加えるべきではないか。

事務局

- ①定義について、乳幼児から高齢者まで世代によって食育に対する課題が異なるので、一言でこれというのは難しい。アンケートの対象については郵送回答という性質及び第2次名寄市食育推進計画策定に合わせて行ったアンケートの際の対象を踏まえて設定したが、年齢設定については検討したい。
- ②地域包括ケアシステム構築に係る手法の1つとしてICTの活用を検討しているが、現在協議中で今回提示していない。次回以降、基本計画の議論の中で具体的なものを提案していきたい。
- ③委員のご提言のとおり。検討して次回の審議会で回答したい。

4 そ の 他

事務局 次回審議会日程報告（7月6日(金) 18時30分から）

5 閉 会

定木会長閉会

[会議資料]

- 資料1-1 名寄市総合計画の体系
- 資料1-2 施策の体系
- 資料1-3 重点プロジェクト
- 資料2-1 RESASでみる名寄市
- 資料2-2 住みよさランキング
- 資料3-1 主要施策の成果指標(KPI)
- 資料4-1 各種団体と市長との意見懇談会でのご意見・ご提言